

オーバード・アンサンブル金沢

富山特別公演 with 合唱団OEKとやま

ゲスト
木下牧子

Makiko
Kinoshita
Guest, Composer

指揮
山下一史

Kazufumi
Yamashita
Conductor

© ai ueda

合唱
合唱団OEKとやま

Chorus
OEK Toyama

2023 8/20 SUN 日 15:00開演

オーバード・ホール 大ホール

主催：(公財)石川県音楽文化振興事業団、合唱団OEKとやま 共催：北日本新聞社 後援：とやま音楽文化協会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（創造団体支援））
独立行政法人日本芸術文化振興会

Program

プログラム



プレコンサート ～アカペラステージ～

木下牧子作曲：「おんがく」「めばえ」「祝福」「夢みたものは」「鷗」

エルガー：弦楽セレナーデ ホ短調 作品20

E.Elgar：Serenade in E minor Op.20

第1楽章：アレグロ・ピアチェヴォーレ

第2楽章：ラルゲット

第3楽章：アレグレット

ラター：タイムの小枝

J.Rutter：The Sprig of Thyme

- 1：豪胆なる擲弾兵
- 2：漕げよ平船
- 3：柳の木
- 4：タイムの小枝
- 5：柳の庭を通過
- 6：カッコー
- 7：行き先は知っている
- 8：柳の歌
- 9：ねえクッション縫える
- 10：ディーの粉屋
- 11：アフトン川の水



休憩

木下牧子：邪宗門秘曲

Makiko Kinoshita：Jasyumon Hikyoku

木下牧子：大伴家持の三つの歌

編曲／福嶋頼秀

Makiko Kinoshita：Three Yakamochi Songs

第1曲：「立山の賦」

第2曲：「ほととぎすと藤の花」

第3曲：「放逸せる鷹を思ひて」



エルガー：弦楽セレナーデ ホ短調 作品20

イギリスを代表する作曲家エドワード・エルガー（1857～1934）が、1892年、3回目の結婚記念日に妻アリスに贈ったのがこの「弦楽セレナーデ」。エルガーはピアノを教えていた8歳年上のアリスと結婚するにあたって、アリス側の親族に猛反対された。アリスは名家の出身だったのに対し、当時のエルガーはいまだ無名の音楽家にすぎなかったからだ。エルガーがアリスとの婚約記念に贈った「愛のあいさつ」は広く知られる名曲だが、結婚3周年でまた「弦楽セレナーデ」という名曲が誕生したのである。

曲は3つの短い楽章で構成される。いずれも情感豊かで、清冽なリリズムにあふれる。第1楽章 アレグロ・ピアチェヴォーレ、第2楽章 ラルゲット、第3楽章 アレグレット。

ラター：タイムの小枝

ジョン・ラター（1945～）はイギリスの作曲家、指揮者で、おもに合唱音楽の分野で活躍している。ロンドンに生まれ、少年時代より聖歌隊で歌い、ケンブリッジ大学のクリア・カレッジで音楽を学んだ。在学中より作曲家として注目を浴び、1983年には自身の合唱団ケンブリッジ・シンガーズを結成し、数多くの作品を世に送り出している。

「タイムの小枝」はブリテン諸島の民謡を集めた11曲からなる曲集。日本で比較的知られているのは、第5曲「柳の庭を通して」、第8曲「柳の歌」、第10曲「ディーの粉屋」、第11曲「アフトン川の水」だろうか。初めて耳にする者にもどこか懐かしさを感じさせるような曲集である。

飯尾洋一（音楽ジャーナリスト）

木下牧子：邪宗門秘曲

神戸大学混声合唱団エルデから新曲委嘱があったとき、私は、それまで多用していた組曲形式でなく、単一楽章による新しいタイプの作品を書こうと決心した。テキストも、使い慣れた口語詩は除外し、呪文、ヴォカリーズ、外国詩などを中心に検討した。

最終的に私の求めるイメージと一致したのは、耽美派象徴詩として有名な、北原白秋の「邪宗門秘曲」であった。異国情緒と官能に染められた饒舌の美学は、私に新鮮な刺激を与えてくれた。

曲の特徴としては、ワンプレーズが長く強弱の幅が広いことが上げられる。ffをを持続する場面も多く、かなりの肺活量を必要とするだろう。部分的には、声部の入り、メロディを修飾する8部音符の対位法的な動き、三連符の分散和音などに細かく気を配りながら、全体的には、息長く線の太い作品としてまとめることが望まれる。

齊田好男氏の指導による「エルデ」の初演（1988年12月14日・神戸文化会館・ピアノ/海江田千晶氏）のあと、89年と95年の2回にわたって大幅な全面改訂を行い、ようやく今回の形に落ち着いた。この改訂新版の初演をしてくださったのは、浅井敬壹氏率いる関西の名門、住友金属混声合唱団（ピアノは藤澤篤子氏）。同コンクール全国大会の金賞を受賞した。

「邪宗門秘曲」（カワイ出版）序文より引用 [1997年3月執筆]

木下牧子：大伴家持の三つの歌

1995年の2月に、国民文化祭富山県実行委員会から、新作合唱作品の委嘱のお話があった。同年6月には、2泊3日かけて富山県内を案内していただく機会も得て、海山ともに豊かな自然に恵まれた魅力的な地形、とりわけ霊山立山の雄大な姿には大変感銘を受けた。毎年国民文化祭では、開催県にゆかりの詩人の作品をテキストに用いるのが約束事とのこと。今回は越中赴任中にその名作のほとんどを詠んだといわれる、大伴家持の歌をテキストにしようと考えた。凝縮の美学ともいえる短歌を、繰り返したり引き伸ばしたりして使うのはあまり気が進まなかったため、長歌に的を絞ってテキスト探しを進めた。「立山の賦」「放逸せる鷹を思ひて」の2首は、富山の雄大な自然を大きなスケールで描いてみたいという私の願いにぴったりだったし、「ほととぎすと藤の花」はその幻想的な美しさが、求めていた緩徐楽章の雰囲気そのものであった。こうして素晴らしいテキストに啓発されつつ、いままでの作品とは一味違った新しい世界を作り出すことを目指した。

最近の合唱界では、小編成が主流になりつつあるが、この組曲は、重厚なハーモニーが特徴なので、できれば50人以上で歌うことが望まれる。数団による合同演奏なら理想的。

ピアノパートがかなり難しいのも特徴といえるだろう。もっとも、ほとんどは分散和音で押していくスタイルだが、「立山の賦」では、テヌート気味の重厚なタッチ、「ほととぎすと藤の花」は指の腹を使ったピロートのタッチ、「放逸せる鷹を思ひて」では、一音一音粒立ちのはっきりして堅めのタッチ、というふうに、楽章によって引き分けていただければ嬉しい。

「大伴家持の三つの歌」（カワイ出版）序文より引用 [1997年4月執筆]

木下牧子（作曲家）



指揮

山下一史

Kazufumi Yamashita
Conductor



桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。その後ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演、好評を得ている。これまでにアンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者ならびに名誉指揮者、仙台フィル指揮者ならびに正指揮者を歴任。シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演など、オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。現在、千葉交響楽団音楽監督として、「おらが街のオーケストラ」をキャッチフレーズに定期から音楽教室まで幅広く活動をしている。

東京藝術大学音楽学部指揮科教授。2022年4月より愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者に就任。

ゲスト

木下牧子

Makiko Kinoshita
Guest, Composer



作曲家。東京生まれ。管弦楽、吹奏楽からピアノ曲までその活動は幅広く、特にオペラを含むヴァリエティ豊かな声楽作品は抜群の人気を誇る。東京芸術大学作曲科首席卒業、同大学院修了。日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽の部)入選。日本交響楽振興財団作曲賞入選。三菱UFJ信託音楽奨励賞受賞。主要作品に、オペラ「不思議の国のアリス」、ピアノ・コンチェルト、合唱と管弦楽のための「たいようオルガン」、室内楽「ねじれていく風景」、吹奏楽「ゴシック」、歌曲集「秋の瞳」他。今までに5回の作品個展を開催。出版多数、CDに「管弦楽作品集～呼吸する大地」(オクタヴィア・レコード)、「室内楽作品集～もうひとつの世界」(ライブノーツ/レコード芸術)現代作曲部門 特選盤)ほか多数。

■公式サイト <https://kinoshitamakiko.com>

合唱

合唱団OEKとやま

Chorus OEK Toyama



平成7年8月に「合唱団おおやま」を結成、平成8年8月に第1回演奏会を開催。以来毎年夏に富山市大山文化会館においてオーケストラ・アンサンブル金沢との共演による演奏会を開催してきた。この演奏会では、ラター、ペルト、ドプロゴス、佐藤賢太郎、ヤイロ、ミラーなど、現代作曲家のミサ曲を数多く取り上げてきた。平成29年、富山県民会館で大編成の合唱団によりヴェルディのレクイエムを演奏するに当たり、「合唱団OEKとやま」と名称を改めた。今回で通算27回目の演奏会となる。

■公式サイト <http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

管弦楽

オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa



1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、石川県と金沢市が設立した国内外奏者40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラ。石川県立音楽堂を本拠地とし、年間約100公演を行う。2007年より11年間井上道義が音楽監督を務め、2018年9月よりマルク・ミンコフスキが芸術監督を務める。22年9月より広上淳一がアーティスティック・リーダーを務める。

■公式サイト <https://www.oek.jp>

ソプラノ

上 莖 直子 千葉 多恵
岡本 洋子 羽岡 典子
熊野志津子 藤村千賀子
坂本 雅子 宮東智香子
武部由貴美 村上 麻理
谷崎キミ子 山崎 忍
谷崎 千紗 山本 裕美
谷崎 千鶴

アルト

麻島 利子 楠谷 道子 戸田 圭子
荒川 祥子 笠置由美子 豊岡 聡子
飯田三千代 片山美富里 仲井 葉子
井上 澄子 北村由理子 中川 律子
上田富士恵 木村まゆみ 平崎 康子
梅村 夕子 小島 久美 松井 真理
岡本 記子 斎藤きよみ 村椿 伸子
岡本 智子 坂田 愛子
奥野 知子 高木 茂子

テノール

飯田 泰三
井内 学
上 莖 徳之
廣野 正和
牧 重和
三羽 康嗣
山崎 勝幸

バス

麻島 宗義
飯田 憲司
上田 慎一
谷内 康志
谷崎 修一
鶴木 宏安
中村 諭
野入 豊光
松井 輝

合唱指揮

内山 太一
谷崎 修一

ピアニスト

村上 麻理

特別トレーナー
[東京混声合唱団]

松崎 ささら
松岡 大海



合唱団員募集中!

お問合せは谷崎(090-8093-7549)まで